

【教育目標】 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに



中野だより

令和3年 3月18日 発行 第33号 発行者:中野区立中野中学校

卒業式を前に

A子は、家では家族と普通に話をするが、学校で友人や先生と話をすることはほとんどなかった。特に小学校高学年からその傾向が顕著になった。親はA子を内気で人見知りの強い子と思っていたが、担任の勧めで専門医に相談すると「場面緘黙症(ばめんかんもくしゅう)」と診断された。ただ、話せない場面ははっきりしていて、その「場面」が一生続くことはないとの見立てだった。しかし、A子が中学生になっても状況に変化はなく、学校では「しゃべらない子」の状態が続いていた。

A子が中3になり、私が担任することになった。いくら話しかけても言葉を返さないA子のことを考えると、「自分は嫌われているのだろうか」「学校のどこが悪いのだろうか」などと疑心暗鬼に陥り、無力感やもどかしさが募った。それでもA子は、彼女をよく知る友人たちに支えられ、大きなトラブルもなく中学校生活を終えようとしていた。

卒業式前日。私は、クラスの生徒一人一人に短いメッセージをおくった。A子には「卒業式、『はい』だけでいい。あなたの声を聞かせてほしい」という内容だった。

翌日の卒業式。卒業証書授与の時、私は「中野A子(仮名)」と呼名をした。しかし、壇上のA子は返事をすることなく校長先生の前に進み、卒業証書を受け取った。私の淡い期待は砕かれた。

卒業式から3週間ほど経過した4月のある日、卒業生たちが新しい高校の制服を着て進学の報告に来た。その場で卒業生の中山B子(仮名)から意外な事実を告げられた。「A子ちゃん、卒業式で返事をしていましたよ。小さな声だったけど、一番近くにいた私にはA子ちゃんの『はい』の返事が聞こえました」と…。

B子の出席番号はA子の次。壇上でのA子の『はい』という声が、舞台下で待機していたB子に届いていた。すでに新1年生を担当していた私だったが、ようやく卒業式が終わったことを実感した。

その後高校生になったA子は専門医の見立て通り少しずつ他人と会話ができるようになり、卒業する頃には中学時代までの様子が嘘のように、ごく普通の高校生活を送ったという。



A子は中学の卒業式の時、小さな声を出すために大きな勇気を振り絞った。そのことは、彼女が自分の人生を切り拓くきっかけになったのかもしれない。

さて、明日は本校の卒業式。コロナ禍で過ごした最終学年。思い描いた通りの中学校生活を送ることができなかったかもしれない。それでも一人一人の努力と工夫で中学校生活を全うしたことは事実である。しっかりと返事をし、胸を張って、堂々と卒業して行ってほしい。

2年スキー教室実施

担当：平林 鴻佑

3月10日（水）、第2学年は山梨県「カムイみさかスキー場」においてスキー教室を実施して参りました。本来、スキー教室は2月に軽井沢少年自然の家を利用して2泊3日で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う学校行事の延期や変更があり、感染症対策を講じた上での日帰りの実施となりました。

当日は晴天に恵まれ、気温が20度に迫るほどの春の陽気で、「暑い～」とウエアの中を半袖にして滑っている生徒もいました。そのような中でも汗だくになりながら、思い思いにスキーを楽しんでいる様子がうかがえました。また、生徒に大きな事故やケガもなく、無事にスキー教室を実施出来ました。

ご指導いただいたインストラクターさんからは「生徒さんたちは本当に素直で、挨拶に元気があっていいですね」とたくさんのお褒めの言葉をいただきました。2年生の素直さや元気の良さなどの良いところが随所に出た一日でした。

様々な場面で我慢が多かったこの一年でしたが、2年生にとっては学年最後に思い出に残るような校外学習となり、本当に嬉しく思っています。保護者の皆様には、このような中でのスキー教室の実施についてご理解ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



1 年中野区観光資源巡り実施

3月12日(金)、第1学年は校外学習「中野区観光資源巡り」を行いました。

1学年は入学当初の山中湖移動教室が中止になり、代替行事として計画していた川越校外学習も実施できなくなっていました。それでも何とか校外学習を実施したいという先生方の思いから計画されたのが今回の「中野区観光資源巡り」でした。

当日、生徒は学校に登校後、班ごとに元気よく出かけていき、予定していた見学場所を回って、最後、満ち足りた表情で学校に戻ってきました。

今回の校外学習では中野の魅力を再発見できた人も多かったと思います。また、各訪問先で様々な方々と出会い、いろいろなお話を聞かせていただいたり、道案内をしていただいたり、中野区にお住まいの方々には大変お世話になりました。ご協力いただきました全ての方々に感謝申し上げます。



～生徒の感想（中野巡り反省アンケートより）～

- ・中野区にはまだまだ自分の知らないところがあることが分かった。(A)
- ・みんなで協力して、楽しく行動することができたので良かった。(A)
- ・公園で遊んで、また班の仲が深まった感じが良かった。(A)
- ・中野にはとても歴史のある良い所があるのが分かった。(A)
- ・梅照院はとても身近に感じていたが、歴史などを知ってとても驚かされた。(B)
- ・蓮華寺で鐘を鳴らす体験ができて、とても面白かった。(B)
- ・氷川神社に「忠孝」と書かれた石像があり歴史の授業が生きて嬉しかった。(B)
- ・中野でも縄文時代の文化があったということが分かった。(B)
- ・宝仙寺の三重塔は立派さと高さがあって、見応えがあった。(C)
- ・哲学堂公園で天狗松のすごい高さに魅力を感じた。(C)
- ・中野町役場跡 4mの石坂に彫られた字はどうやって彫られているのか気になった (C)
- ・一つ一つに違った良さがあり、中野区の歴史を感じることができた。(C)

＜ 3 年 表 彰 ＞

○ **体育優良生徒**

ウナル セミヒ(3C)、田中 咲妃(3D)

○ **産業教育奨励表彰**

古谷 花(3C)、塘崎 穂海(3D)

○ **中野区教育振興会表彰(ボランティア表彰)**

東 広郷(3A)、弓谷 照美(3A)

高山 直樹(3B)、小林 優良(3C)

おめでとうございます！

タブレット端末を貸与します

中野区教育委員会では、国のGIGAスクール構想の実現に向けて、ICTを活用した学習活動を進めるために、区立学校に在籍する児童・生徒1人につき1台の学習用タブレット端末「iPad」を貸与します。一人一台端末があることで、コンピュータ室だけでなく、普通教室や通信環境がある自宅でもICTを活用した協働的な学び及び個別最適な学びができるようになります。

【今回貸与される機器】

機器名	iPad 第8世代 (付属のACアダプタ、 Lightningケーブル含む)	タブレットケース	キーボード
機器 イメージ			

【注意点】

- (1) Google アカウントは、これまで使用していたものから新しいものに変更となります。新しいアカウントは後日お伝えします。
- (2) 今回貸与される機器は、進級後も同じものを使用し、卒業や転出の際には返却していただきます。
- (3) 自宅に通信環境(Wi-Fi等)がない場合の対応は、現在検討中です。決まり次第お伝えします。